

令和7年度「安房の海を守り育む会」事業報告

I 事業運営の考え方

1 現状と課題

「ふるさとにきれいで豊かな川と海を」を合い言葉に2001年（平成13年）海の日に設立した当会は、本年25周年を迎えます。さまざまな人々の活動的・資金のご協力で第1・第2・第3倉庫を設立し、運営面でも会員の週末の活動の努力と会計及び事務局による行政機関（県・市・法務局）への沢山の資料作成の労力によって、成り立ってきました。

しかし、運営上の問題として

(1) 週末に活動する会員の高齢化

(2) 活動資金の確保

に大きな課題があります。

(1)については、新会員の加入不足、(2)については、令和4年度の寄付金が60万円で過去最低になったため、令和5年度からは約500ヶ所の事業所・商店・個人に寄付のお願い文を送付しました。昨年度は、140万円を超えましたが、これは一個人が50万円の寄付をして頂いたからであり、毎年安定して寄付が集まるとは限りません。このため当会のチラシの有効活用とホームページの更新を行い、以下の事業を行いました。

2 事業運営の方針

全NPO法人の中で2%しかない寄付した人が所得控除が受けられる「認定NPO法人」の特異性をチラシや看板でアピールし、目的達成のため次の運営を行いました。令和8年2月に千葉県継続認定を受けました。

(1) 週末の活動に参加できる会員の確保と当会の活動を支援していただける寄付者確保のため、

①当会のチラシを新聞に折り込みました。

②ホームページの全面更新。

③過去に寄付を頂いた方及び新規にお願いしたい方に、お願い文等を郵送した。

(2) 会員の家庭からの浄化活動とEMの認知度を高め、水質浄化にも効果が期待できる農業へのEMの有効利用の推奨をはかりました。

(3) 週末の活動は、昨年と同様にIIの事業計画どおり行い年間放流量165600Lを放流しました。

II 事業報告

1 活動日及び内容

活動場所	活動日	活動内容	放流場所	備考
第1活動拠点 (第1倉庫)	<p><u>4月～11月</u> 毎月最終土・日 曜日のみ休止し 、 それ以外の 土・日曜日</p> <p><u>12月～3月</u>毎月 第2及び最終 土・日曜日は 休止し、それ 以外の土・日 曜日</p>	<p>有用微生物群(EM)の放流 " の仕込み</p> <p>400Lタンク2台 (通年、室内設置)</p> <p>1000Lタンク2台 (夏期、室外設置)</p> <p>年間放流量 59000リットル</p>	<p>どんだん川及び支流域 会員の家庭からの放流</p> <p>セブンイレブン那古海岸 店の浄化槽に投入</p>	年間72日
第2活動拠点 (第2倉庫)	<p><u>4月～11月</u> 毎月最終土・日 曜日のみ休止し 、 それ以外の 土・日曜日</p> <p><u>12月～3月</u>毎月 第2及び最終 土・日曜日は 休止し、それ 以外の土・日 曜日</p>	<p>有用微生物群(EM)の放流 " の仕込み</p> <p>400Lタンク2台 (通年、室内設置)</p> <p>1000Lタンク2台 (夏期、室外設置)</p> <p>年間放流量 40600リットル</p>	<p>宇田川への放流 会員の家庭からの放流</p>	年間72日
第3活動拠点 (第3倉庫)	3000Lタンクを 月2回放流	<p>有用微生物群(EM)の放流 (土曜日 放流) (日曜日 仕込み)</p> <p>年間放流量 66000リットル</p>	<p>汐入川及び支流域放流 会員の家庭からの放流</p>	年間48日

年間総放流量165600リットル

2 海の日 EM 団子投入事業

中止した。

○理由

EM団子をケースに入れて、熟成させるために保管して頂いた若潮ホールが閉鎖になった。EM団子の入った多数のケースを保管し熟成させる場所（適地）が無いため中止した。

3 広報活動

- (1) 当会のチラシの発行、ホームページの更新を行った。
- (2) 活動内容や活動成果などを積極的に新聞等に投稿した。
- (3) のぼり旗を立てて頂ける方を探した。



わ3倉庫 (下真倉)



わ3倉庫 (下真倉)



わ1倉庫 (船形)



復活したナミコガイ